

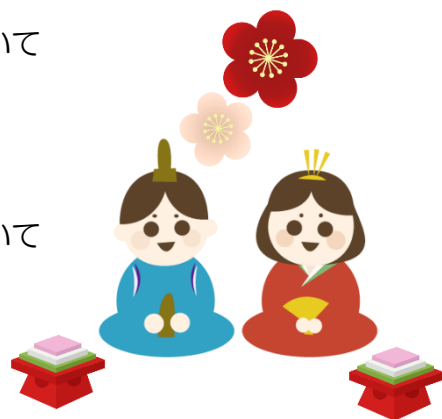
■ 2月の自立支援協議会報告

*療育支援部会 4日(金)

- ・「諏訪圏域保育園・幼稚園・学校における関係機関の連携等に関する調査」について、課題の確認と解決について
- ・第6期障害福祉計画/第2期障害児福祉計画と各部会等の連動について
- ・今年度の振り返りと次年度について

*医療的ケア児部会 7日(月)

- ・第6期障害福祉計画/第2期障害児福祉計画と各部会等の連動について
- ・今年度の振り返りと次年度からの活動内容について

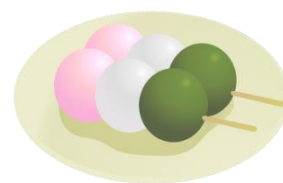


*就労支援部会 15日(火)

- ・就労アセスメントの報告
- ・第4回就労支援部会 座談会の報告
『福祉の仕事をしているうえで良かったこと 辛かったこと 共感してもらいたいこと』
- ・第6期障害福祉計画/第2期障害児福祉計画と各部会等の連動について
- ・今年度の振り返りと次年度について

*相談支援部会 17日(木)

- ・地域生活支援部会より防災WGより 災害時情報シートについて
- ・第6期障害福祉計画/第2期障害児福祉計画と各部会等の連動について
- ・次年度の相談支援部会の協議内容



*地域生活支援部会 22日(火)

- ・災害時情報シートについて
- ・次年度の協議事項について



■ 研修会・研究会・イベント情報（詳しい情報は各団体、またはオアシスまで）

*新型コロナウイルスによる感染症拡大防止の為、中止や延期になる場合があります。

♣ 諏訪湖畔病院精神科デイケア諏訪湖ハイツ展示会のお知らせ

日頃作っている作品を発表し、デイケアでの活動を紹介する機会です。絵画、写真、陶芸や編み物・刺し子・革細工といった手工芸作品などの展示を予定しています。

【期間】 3月1日(火)～3月15日(火)

※期間中、デイケアメンバーやスタッフは常駐いたしません。

【会場】 諏訪湖ハイツ1階ロビー

【問合せ】 諏訪湖畔病院精神科デイケア 中村・本田

【電話】 0266-27-5500

諏訪湖ハイツ展示会のお知らせ

3月1日(火)～15日(火)に諏訪湖ハイツ1Fロビーで作品展示会を催します。日頃作っている作品を発表し、デイケアでの活動を紹介する機会です。

例えば、絵画、写真、陶芸や編み物・刺し子・革細工といった手工芸作品などの展示を予定しています。

※尚、コロナウィルス感染拡大にて、中止になる場合がありますのでご了承ください。



♣ Light It Up Blue ちの 2022 ～ひろがれ！青い光が繋げるころ～

ともに生きる命とつながる感性あふれる地域社会をめざし、毎年4月2日の「世界自閉症啓発デー」にあわせ、茅野市民館をライトアップし、青い光で包みます。

【ブルーライトアップ】4月2日(土) 18:30～22:00 カウントダウンは 18:15～18:30
4月3日(日)～9日(土) 19:00～22:00

【関連企画】“つながる”パネル展示

3月13日(日)～4月9日(土) 9:00～19:00 茅野市民館スロープ

【関連企画】まぜこぜフェス 4月2日(土) 13:00～ 茅野市民館ロビー

●まぜこぜアートワークショップ『ART IN BLUE』～あなたの青「ブルー」を表現してみよう！～

いろんな素材と道具を選んで、青と白だけで描くワークショップ。いろんな青の重なりや広がりを感じながら、だれでも自由に楽しく表現できます。

①13:00～ ②14:00～ ③15:00～ ※30分程度

講師 西川直子(アトリエもも共同代表/芸術療法士)

参加費 無料 定員 各回10名(要事前申込)

●まぜこぜ shop2022

地域の福祉事業所・施設でつくられた製品を販売することで、障が



いのある作り手と地域の方が、ものを通じて交流し、感性に触れることができれば…と企画しました。

13:00~16:30 茅野市民館ロビー

●ほっしー☆とあそぼう

ほっしー☆ワールドでみんな一緒に遊びましょう!

17:30~ 出演 さすらいのパントマイマー ほっしー☆

参加費 無料(要事前申込)

【問合せ・申込み】

茅野市民館 茅野市塚原一丁目1番1号

TEL 0266-82-8222 FAX 0266-82-8223 <http://www.chinoshiminkan.jp/>

主催: Light It Up Blue ちの実行委員会



♣ 高森信子先生による精神障がい者支援者向け研修会

~精神障がい者の理解と対応について~

当事者に良かれと思っての声掛けが、かえって当事者の負担になっていないかと不安になることがありますか?当事者の気持ちを熟知した先生のお話は、当事者の気持ちに寄り添いどう対応していくかを、多くの実例をあげ具体的に教えてくださいとさせていただきます。

*講演会場のほか、オンライン(ZOOM)での視聴も可能

【プログラム】3月31日(木)

13:00~ 開場

13:30~15:30 基調講演『信頼関係を作る・会話の基本』

15:30~16:00 お困りごと相談

【場所】安曇野市 豊科公民館 大会議室(安曇野市豊科4289番地一)

【参加費】無料

【申込み締切り】3月25日

【定員】40名(申込み先着順)

【申込み・問合せ】三郷にに八 TEL 090-9664-7361 水谷

【オンライン(ZOOM)視聴をご希望の方】

基調講演のみライブ配信です。お困りごと相談の配信はありません

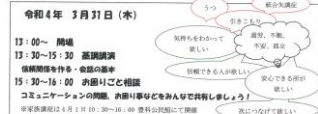
MAIL misato.kazokukai@gmail.com 担当:小林

申込み記載事項:氏名、所属先、住所、電話番号

申込み締め切り:3月25日(金)

高森信子先生による精神障がい者支援者向け研修会
~精神障がい者の理解と対応について~

【精神障がい】という風に考えないで、障がいも差別し、どう対応していくかで差別は日々差別しています。差別と理解を築く必要はない。当事者の気持ちに寄り添い、どう対応していくかを、多くの事例をあげ具体的に教えてくださいとさせていただきます。



令和4年 3月31日(木)
13:00~ 開場
13:30~15:30 基調講演
15:30~16:00 お困りごと相談
※オンライン(ZOOM)視聴をご希望の方
※ZoomのURLは、開催前日まで決定いたします。



♣ ～高森信子先生による精神保健福祉講座～家族講座 パート8 in 安曇野

当事者の気持ちを熟知した先生のお話は、当事者家族が当事者とどう向き合うかを、多くの事例をあげて具体的に教えてください。

【プログラム】4月1日(金) 10:30～16:00

～基調講演～ 10:30～12:30

～お困りごと相談・暮らしのセミナー～ 13:30～16:00

【場所】 安曇野市 豊科公民館 2階大会議室

住所：長野県安曇野市豊科4289番地一

【参加費】 不要

【申込み締切り】 3月18日

【申込み先着順】 定員40名

【申込み・問合せ】 三郷にに八 TEL 090-9664-7361
(水谷)



♣ あらためて障害者総合福祉法の制定を求める！！(オンライン)

—基本合意・骨格提言・権利条約にほど遠い

障害者総合支援法改正を斬る—

【日時】 3月15日(火) 18:00～20:30

【内容】 第3回◆パネルディスカッション

『真に介護の社会化を求めて～各分野からの学びと交流』

◇当事者に学ぶ —ケアラー当事者—

①障害児者のケア：田中智子(全国障害者問題研究会常任全国委員)

②ヤングケアラー：森田久美子(日本ケアラー連盟理事)

③男性ケアラー：津止正敏

(男性介護者と支援者の全国ネットワーク事務局長)

コーディネーター 増田 一世(JD常務理事)

コメンテーター 藤井 克徳(JD代表)

【主催】 認定NPO法人日本障害者協議会(JD) MAIL office@jdnet.gr.jp

【申込み】 HP <https://forms.gle/EF4CDZXh4k1Lhzpv5>

【受講料】 1講座1500円 学生や障害のあるかた1講座1000円

◎郵便振替口座 00120-2-70876

◎ゆうちょ銀行 (当座) 〇一九(ゼロイチキユウ)店70876

◎巢鴨信用金庫 早稲田支店(普)3116627

口座名義 トクヒ)ニホンショウガイシャキョウギカイ



♣ 第91回『ガレージとーく』ミーティングのご報告

いつもお世話になっております。平素より弊団体の運営に、ご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。2月20日(日)に『ガレージとーく』第91回ミーティングをオンライン

(Zoom)で開催いたしました。リピーター3名の方が、松本市、駒ヶ根市からご参加いただきました。

今回は、先月お父様が亡くなられたばかりの方が参加してくださいました。90歳代で介護施設に入居されていたので、死に対する準備はできていたそうですが、検死のため長時間に渡る警察の取り調べを受け、その後の火葬、葬儀、公的手続きで疲れきっていました。昨年秋にも、お母様が亡くなられたばかりの方が参加してくださいましたが、わたしたちの年代は親の死が迫っていることを改めて感じました。

テーマミーティングでは、「またOD(オーバードーズ:過量服薬)してしまいましたが、どうしたら止められるのでしょうか?」が挙がりました。他にも過去にODしてしまった方がいましたが、どちらも「追い詰められたと感じたときや現実逃避したいときにしてしまう」という気持ちや、実際に救急車で病院に運ばれた後の処置などの体験が語られました。

家族に薬の管理をしてもらう方法もありますが、「つらいけれどODしてはいけない」と思うの



ではなく、「とてもつらいから自分をいたわる方法で乗り切ろう」と考えることが大切ではないか、ODしたくなったら代わりにチョコレートをひとくち食べるなど、簡単にできる対処法をいくつも用意しておくことが良いのでは…などの意見が出ました。

3月のミーティングですが、高森信子先生の講演のお手伝い等があるため、開催しない予定です。4月にはえんぱーくとZoomのハイブリッドでの開催を予定しています。よろしくお願いいたします。

このオアシス通信は就労移行支援事業所SAKURA岡谷センターの利用者様が研修の一環として作成しています



■ 新規事業所紹介

♣ ソーシャルインクルーホーム 長野箕輪町

【ホームの概要】

〒399-4601

長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪 12444-1

定員 男性10名、女性10名、その他ショートステイ居室それぞれ1室ずつ

【問い合わせ】

電話 080-7059-6114 (長野県担当:ほそだ)

Mail s.hosoda@socialinclu.co.jp

【メッセージ】

岡谷若宮でご愛顧いただいているソーシャルインクルーです。このたび箕輪町でお仕事させていただくことになりました。スタッフ一同、お客様のお暮らしをよりよくするために日々考え続けます。お会いできることを楽しみにしております。

●ご利用対象者：身体障がい・知的障がい・精神障がい

ソーシャルインクルーホーム 長野箕輪町 の5つの特徴

- 1 24時間スタッフが常駐しているから安心。夜間4名、日中4名以上のスタッフがサポートいたします。
- 2 雑談管理や、買い物、お散歩などスタッフが支援します。
- 3 季節ごとのイベントやレクリエーションも多数取り揃えております。
- 4 バリアフリーなので車いすにも対応可能です。
- 5 通所先がある方もない方もしっかりご支援します。

■ リレーずいそう 第104回

今月のリレーずいそうの担当になりました、もくもくで生活支援員をしています、宮坂と申します。

私は大学の約4年間で東ヨーロッパにあるバルト三国の一国のリトアニアで心理学を学び生活をし



ていました。その学びの中には非常に専門的な知識習得や色濃く実践に即したカウンセリングのトレーニング・自分の専門分野を伸ばすために実際に心理社会サポートの組織・機関での半年の就業期間等もありました。これらの経験と短期間ではありますが日本の福祉・心理社会サポート現場での経験を踏まえて、今回のずいそうをしたためようと思います。

私がトレーニングを行った現場は主に、特別支援学校・グループホーム、高齢者施設、そして性犯罪・人身売買・家庭内暴力の被害者のための心理社会サポートセンターでした。これらの現場では多種多様な特徴やバックグラウンドを持つクライアントを対象としていたため、ソーシャルワーカー・心理士・カウンセラー・医者・看護師、または警察・弁護士など様々なプロたちが結束しクライアントの支援に当たっていました。もちろん福祉の現場では様々な専門家の視点を借用し様々なケースに対応することは必須ではありますね。その中で私は心理士の役割に関して非常に興味を持ちました。

まず、日本とリトアニア（あるいは多くの西洋各国も）の違いとしては、細かく分類された専門分野の心理士が現場で活躍しているということです。日本では主に臨床心理士がその役割を担っているように感じますが、臨床心理が心理学すべての知識を網羅しているわけではありません。例え



ば、特別支援学校では教育心理士や発達心理士、高齢者施設では壮年心理士や福祉心理士、犯罪被害者支援センターでは認知心理士、犯罪・司法心理士、臨床心理士、性心理士など、場面に適した心理士がその研究や心理的介入の導入など他のプロとは独立した役割を担っています。西洋の多くの心理士は、科学者—実践者モデルをもとに最低修士の1—2年訓練されており、科学的に立証された心理的介入をクライアントに施行し、知識と実践の両立を均等に現場で活用します。このため各クライアントに対する順化も科学的根拠の強い方法で可能になります。

日本での心理士は主に研究を優先事項とし、現場でほかのプロと意見の交換などをする機会が日常的に行われていないように感じられます。日本の福祉・心理社会サポートの現場をさらに豊かにし、クライアント・利用者一人一人にとって適当なサポートの提供を可能にするために知識の要も

現場に飛び込むべきだと強く考えるようになりました。皆さんはどう考えますか？

最後に、私が常に胸に抱えている発達心理士カール・ロジャーズの言葉を紹介し、締めくくりたいと思います。

Forward Thrust of Life - Carl Rogers (前へ突き進む人生 — カール・ロジャーズ)

今回は、グループホーム ふいお〜ゆ〜の金子さんに担当していただきます。

■3月の日程（自立支援協議会、オアシス）

3月 4日（金） 9：30 人材育成委員会
3月 10日（木） 10：00 グループスーパービジョン
3月 16日（水） 10：00 運営委員会



■オアシスたいむ 93 「ラッキーノートとの出会い」

先月のグループスーパービジョンで「不安になった時の気持ちの整理の方法」について事例を出し、参加者さんからユニークなアイデアをたくさんいただきました。その中でも「ラッキーノートをつけてみる」というアイデアが私の中でヒットしました。「ラッキーノート」とは、毎日1個良いことだけを書いていくもの。自信に繋がったり、慣れてきたらポジティブにリフレーミングできる効果があるようです。さっそく私も試しています。

ついつい自分自身も試してみたいくなるような元気なアイデアがでるグループスーパービジョン、オアシスで毎月開催しておりますのでぜひご参加ください。

